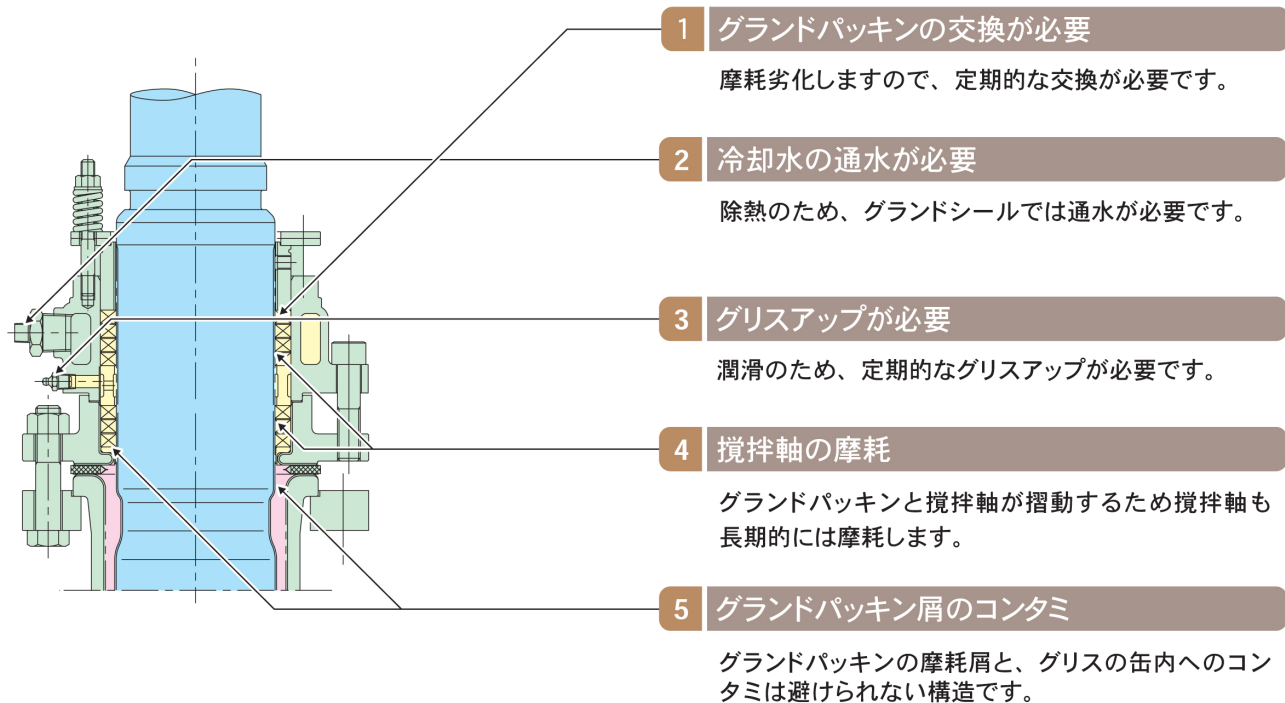


軸封リニューアル

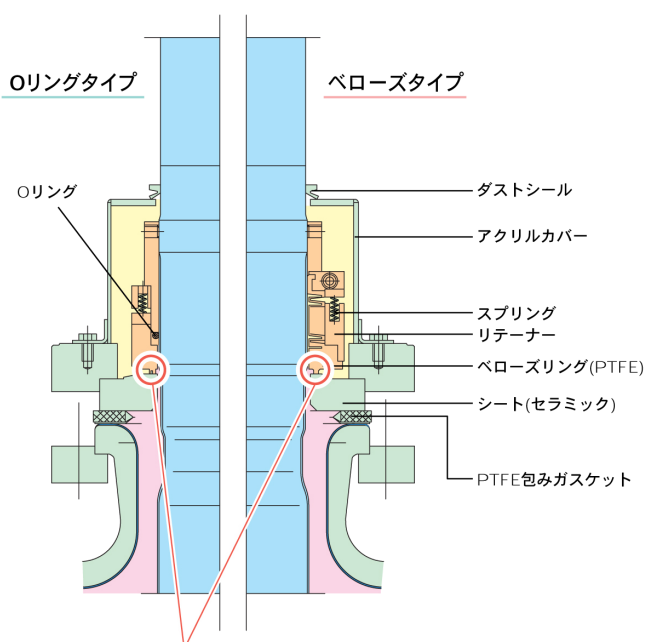
缶内へのコンタミの心配は？メンテナンスは面倒ではありませんか？

グランドシールをドライシールにご提案します。

【グランドシールの構造】



【ドライシールの構造と特長】



摺動部

固定シートの上を回転環が接触しながら回っています。

- 1 コンタミレス**
摺動部にはセラミックとテフロンを使用していますので、パッキン屑は発生しません。
また、シール液は使用しませんので、シール液の混入も構造上ありえません。
- 2 メンテナンスフリー**
グランドシールでは必須のグランドパッキン交換、グリス補給等の日常メンテナンスは不要です。
冷却水の通水も不要です。
- 3 グラスライニング製攪拌翼の長寿命化**
グランドシールと違い、攪拌軸には摺動部はありませんので、摩耗による攪拌翼の交換は必要ありません。
- 4 使用条件**
標準選定圧力：真空～0.19MPa(真空～2kgf/cm²)ベローズタイプ
：真空～0.49MPa(真空～5kgf/cm²)Oリングタイプ
標準選定温度：-30～175℃

【軸封改造の工程】

1. 改造部品手配

約 2.5ヶ月

改造を検討する際は、まず対象機器の製作番号をご連絡ください。
改造に際し、どんな部品が必要か弊社にて検討いたします。

他社製についても、多数改造実績がありますので、ご相談ください。
その他①使用温度 ②使用圧力もご提示ください。

〈改造に必要な部品〉

- ①ドライシールユニット
- ②攪拌翼（ドライシールをセットする軸の形状が異なりますので必要です）
- ③架台（ドライシールを設けるために必要です。また場合によりベアリング付きになります。）
- ④交換用ガスケット

2. 現地改造工事

2～3日

現地工事含めた改造工事を一括承ります。
指導員のための派遣も対応していますので、別途ご相談ください。

3. 試運転確認、完成

改造工事終了後、試運転を実施し、運転状況、気密を確認します。



改造前



改造後

グランドシールからドライシールへの改造の他
グランドシールからメカニカルシール
メカニカルシールからドライシール
への改造も承っています。

ドライシールの上にベアリングがついているタイプです。